

組織拡大に全力を!

2012年11月29日
No.70

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

11・24京大集会打ち抜く!

京大。松本総長体制打倒へ!

(投稿・京都大A)

11月24日、大学奪還学生行動は京都大学「11月祭」の企画として、国鉄水戸動力車労働組合と八尾北医療センター院長の末光道正さんを講師に招いて「松本総長打倒! 11・24京大集会」を開催しました。

●JR東海会長・葛西追放を!

今年10月1日から京大の情勢は一変しました。全学自治会同学会の追及で京大経営協議会から関西電力元社長・藤洋作が解任、京大当局は代わって新自由主義のより凶暴な推進者としてJR東海会長・葛西を起用。葛西登場を契機として正門前立て看板の撤去、カリキュラムの一方的再編、学寮型大学院・思修館開講などの攻撃が矢継ぎ早に始まりました。その核心は京大の大学自治・学生自治を徹底的に解体し、日帝ブルジョアジーの先兵を育成する場に大学を改変することです。開講された学寮型大学院思修館では、すでに経営協議会のブルジョアジーが「塾議」なるものをおこなっています。まさにJR東海・葛西らが、その手法とイデオロギーを垂れ流す場として京大が位置づけられたのです。

●新自由主義は闘えば打ち破れる!

この中で、11/24集会に外注化阻止・非正規職撤廃、被曝労働強制反対の闘いを貫いてきた動労水戸の青年が京大に登場したことは決定的でした。昨年の被曝労働絶対反対スト、そして外注化阻止で闘われた波状的スト決起。この中で問われたことは「職場丸ごとを獲得するための日常的な働きかけ」

でした。「最初はストした翌日は現場の雰囲気が悪い。東労組が徹底的に『あいつらは自分だけイヤなことを避けるためにストしてる』と陰口を組織していたから」これに対して「動労水戸がストに立ち上がる意義をとことん訴えていったとき、東労組のペテンはうち破られ、職場の青年が丸ごとスト破り拒否に決起していった」「当局は班体制を変更して動労水戸を青年と分断しようとしたが、一度信頼関係つくれば休憩中でもなんでも議論はできる。当局の支配なんて穴だらけ」「団結破壊のために外注化を部分的に進めるしかないことがより破綻を大きくしている。現場の反撃で外注化は必ず撤廃できるし、青年労働者がその先頭に立つ」この外注化阻止決戦の教訓は、京大でも完全に一体です。京大では全学自治会再建によって生み出された高揚が、カリキュラム再編と教員の配置転換に対する教授有志、職員組合、学生の新たな決起を生み出しています。絶対反対の闘いで階級的団結を拡大するなら、新自由主義の凶暴な展開は、根底的な反撃を生み出す好機へと転じていく。11/24は動労水戸の闘い、京大の情勢を通して、このことを普遍的に明らかにしました。



11/23京大で講演する末光道正さん

●団結の拠点建設へ！

さらに11/24は「ふくしま共同診療所」建設を推進し、原発御用学者と全面对決する闘いの本格的開始を宣言する集会として勝ちとられました。福島診療所建設呼びかけ人で、八尾北医療センター院長の末光さんは「団結の拠点としての診療所」を熱烈にアピール。天然痘の流行と200人の死亡という現実に対して労働者・住民が自らの手で病院を建て、地域の団結を守り抜いてきた八尾北・西郡の闘いの歴史と、末光さん自身が闘った1969年京大医学部ストライキの教訓は、全参加者を奮い立たせる圧巻の内容でした。とりわけ京大医学部ストライキは、「731部隊の人体実験データを流用する京大医学部」「研修制度による青年医師の奴隷労働の現実」への根底的怒りの決起としてあり、その闘いを通して「医師の人事権が医学部教授会から青年医師連合に奪還される」という決定的勝利を勝ちとりました。「一年間のバリケードストの中では自主講義がいくつも生み出され」「全国各地の地方病院からの要請に応じて医師を派遣」し、その過程で八尾北医療センターの前身＝幸生診療所に末光さんも赴任しました。まさに帝国主義支配の機関であった京大が、学生・青年労働者のストライキで人民の手に奪還されていったのです。この医学部ストを生み出した力は、日常的なクラス討論とスト決議という原

則的な自治会運動であり、本共産党＝民青がバリケードを当局と一体で襲撃したことに対する大衆的怒りの爆発でした。現在の大学改革粉碎と原発御用学者追放の闘いを前進させる根本的な力も原則的な自治会運動であり、体制内派との徹底的な党派闘争を通じた組織攻防戦に勝利することです。

●処分撤回！学生自治会建設へ！

松本総長が葛西や橋下・石原維新の会と推し進める大学改革は、新自由主義の絶望的凶暴化であり、徹底的な自治破壊の攻撃ですが、同時に真っ向から対決することで、どこまでも巨大な反乱を生みだし、勝利を切り開くことが可能になる決定的好機の到来です。現にカリキュラム再編に反対する学生有志の呼びかけに200人を超える学生が結集し、これまで自治会が無かった総合人間学部での自治会建設が議論され始めました。そして学寮型大学院思修館は自治寮の徹底弾劾によって定員割れに追い込まれ、さらに自治寮は交渉拒否を居直る総長への実力闘争を構えています。情勢の決定権はトコトン学生・労働者のものです。京大における怒りの全てを自治会の強化・発展へと集約し、総長打倒の全学ストへ！

全国学生は法大文化連盟・武田くんへの処分撤回署名運動を最大の武器に、新自由主義の大学改革をうち破る自治会建設へと全面的に挑戦しましょう！

11・27東北大一日行動が大高揚！

11月27日、東北大川内北キャンパスにて「サークル活動の自由を守ろう！教育の私物化反対！」を掲げた集会とデモが全国学生の結集で闘い抜かれました！

サークル活動の禁圧を狙う当局に対して、東北大生を先頭に怒りのアピールが次々と発せられ、学内デモから東北大当局への申入書提出・当局追及行動が闘われました。

